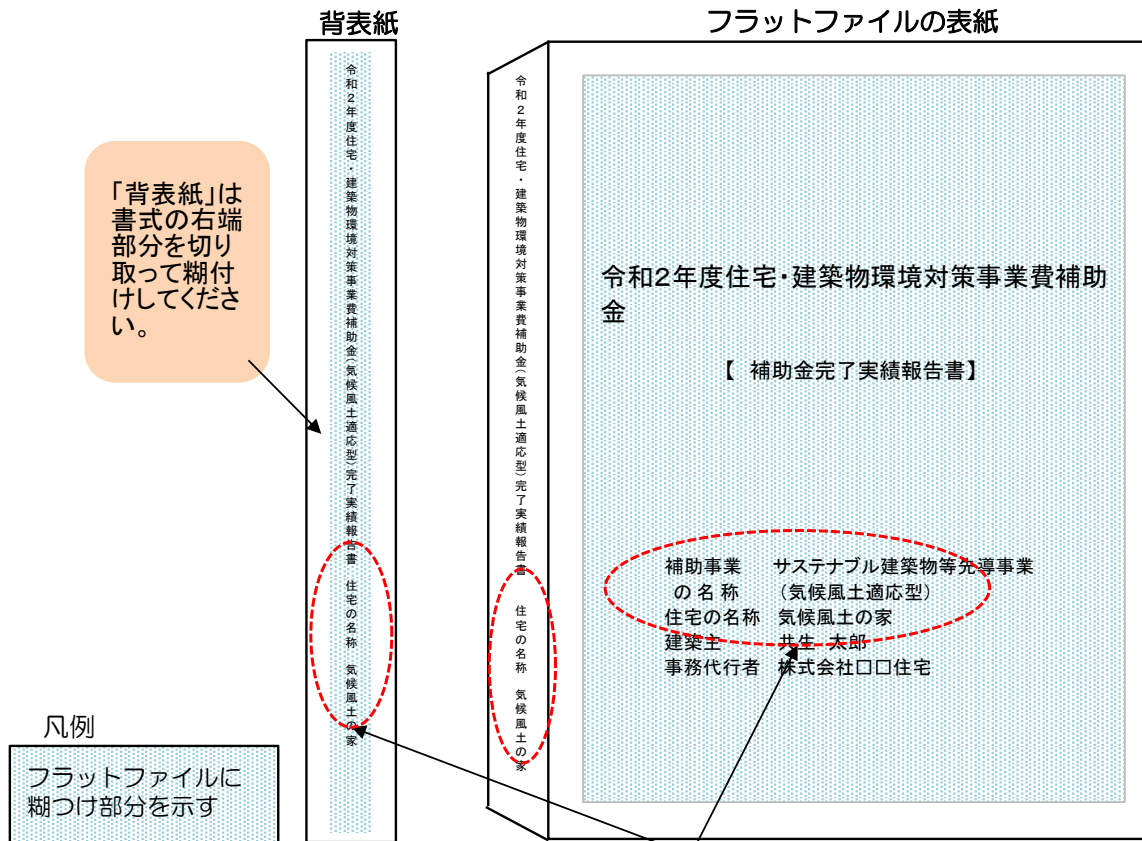


R2年度住宅・建築物環境対策事業費補助金完了実績報告書 補助金完了実績報告書の作成要領及びチェックリスト

- 1 補助金完了実績報告書は事務代行者にて作成してください。
- 2 記入例を参照の上、2部作成し1部を提出してください。
残りの1部は申請者の控えとして保管してください。
(審査の質疑等がある場合、控えがあることを前提としてやり取りを行います。)
注1) 正1部の様式の内、押印書面は必ず「原本」を添付してください。
注2) ・提出：1部 (正：1部)
・控え：1部 (正のコピー：1部)
- 3 書類の大きさは原則としてA4とします。
設計図書の場合、最大でもA3サイズとし、この場合はA4サイズに折ってください。
尚、A3の図面をA4に縮小するのは避けてください。
- 4 申請書は、「A4紙製2穴フラットファイル」に綴じて提出してください。
フラットファイルの表紙及び背表紙に住宅の名称等を必ず記載して下さい。
(「■ファイル表紙・背表紙の作成要領」を参照)
- 5 添付する**変更した図面や資料**には、**事業の要件**(気候風土への対応、環境負荷低減対策等)やエネルギー消費削減量の算定根拠となる部分(数値、算定式、性能、型番など)に**マーカーを入れるなど、わかりやすい表示**としてください。
- 6 要求されていない書類は提出しないでください。

■ファイル表紙・背表紙の作成要領



赤点線内は【別添1-1】に記載すると自動で入力されます。

R2年度住宅・建築物環境対策事業費補助金完了実績報告書 補助金完了実績報告書のチェックリスト

■ 提出書類一覧表

提出する書類にチェック"☑"を 入力 又は 手書きでお願いします。

提出書類	記入例	様式/縮尺等	チェック欄
① 補助金完了実績報告書	例一実1	別記様式第10/原本	<input type="checkbox"/>
② 補助金精算調書	例一実2	別紙1	<input type="checkbox"/>
③ 補助金換算額の精算方法及び内訳	例一実3	別紙2	<input type="checkbox"/>
④ 建築士による省エネルギー性能の状況、提案内容への適合確認書	例一実4	別添1	<input type="checkbox"/>
「3. 住宅の設計内容の省エネルギー性能の状況」	例一実5	/	/
・ 外皮に関する断熱性能実績一覧	例一実6	提出資料1	<input type="checkbox"/>
・ 「一次エネルギー消費量計算結果」及び「外皮計算書」(変更の場合)	/	/	<input type="checkbox"/>
・ 性能値が確認できるカタログ等の写し	/	/	<input type="checkbox"/>
「4. 計画の変更等 及び 提案内容への適合状況」	例一実5	/	/
・ 提案内容に係る変更内容を確認できる資料	/	任意様式	<input type="checkbox"/>
・ その他、気候風土適応関係図書 (変更の場合) ※提案内容変更部分を明記及びマーキングしてください。 上記を補足する資料を提出してください。	/	任意様式	<input type="checkbox"/>
上記に伴う設計図書(変更した場合)			
1) 案内図 最寄駅及び目標となる建物を明示	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>
2) 配置図 縮尺、方位、敷地の境界及び道路の位置	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>
3) 仕上表	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>
4) 各階平面図 縮尺、方位、寸法、求積、室名	/	1/50程度	<input type="checkbox"/>
5) 立面図 縮尺、寸法 4面記載	/	1/100程度	<input type="checkbox"/>
6) 断面図	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>
7) 矩計図 断熱部、開口部の仕様等(種類・厚さ)を明示	/	1/20程度	<input type="checkbox"/>
⑤ 提案内容・物件の写真等(完了出来高が判別できるもの)	例一実8	任意様式	<input type="checkbox"/>
⑥ 納品書または出荷証明書等(補助対象工事および「提出資料1」に該当するもの)	例一実7	任意様式	<input type="checkbox"/>
⑦ 事業費の積算内訳が記載されている契約書等	/	原本写し	<input type="checkbox"/>
⑧ 工事等の事実を証明する書類	/	原本写し	<input type="checkbox"/>
⑨ 事業費の支払いを証明する書類	/	原本写し	<input type="checkbox"/>
⑩ 協議会が確認に必要と判断するもの	/	/	/
・ 施工業者一覧	例一実9	提出資料2	<input type="checkbox"/>
⑪ 交付決定通知書	/	原本写し	<input type="checkbox"/>

書類作成日を記載してください。

令和 3 年 2 月 1 日

例一実1

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会
会長 竹中 宣雄 様

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

(申請者)
建築主の氏名又は名称
共生 太郎



押印のあるすべての様式は同じ印鑑で押印してください。

令和2年度住宅・建築物環境対策事業費補助金完了実績報告書

交付決定通知書に記載された「交付決定日及び交付決定番号」を記載してください。

令和 2 年 4 月 20 日 付け KKJ02 発 第CK 000-01 号をもって
補助金の交付決定を受けた標記事業が完了したので、令和元年度サステナブル建築物等
先導事業（気候風土適応型）補助金交付規程第11の規定により、関係書類を添え、下記
のとおり報告します。

記

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

- 1. 補助事業の名称 サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）
- 住宅の名称 気候風土の家

別紙1「精算補助金額」と同じ金額になります。
別紙1を作成すると自動で入力されます
単位は(千円)、消費税抜きです。

1,000 千円
1,000 千円

- 3. 補助事業の実施期間 令和 2 年 4 月 20 日 ~ 令和 3 年 2 月 1 日
- 4. 補助事業の完了日 交付決定日以降かつ補助対象工事着手日の日付

支払い完了日以降かつ実績報告提出期限内の日付

(添付資料)

- 1. 補助金精算調書 (別紙2)
- 2. 補助金換算額の精算方法及び内訳 (別添1)
- 3. 建築士による省エネルギー性能の状況、提案内容への適合確認書 (提出資料1)
- 4. 外皮に関する断熱性能実績一覧 (任意様式)
- 5. 「一次エネルギー消費量計算結果」及び「外皮計算書」(変更の場合) (任意様式)
- 6. 提案内容・物件の写真等(完了出来高が判別できるもの) (任意様式)
- 7. 納品書または出荷証明書等(補助対象工事および「提出資料1」に該当するもの) (任意様式)
- 8. 事業費の積算内訳が記載されている契約書等の写し
- 9. 工事等の事実を証明する書類の写し
- 10. 事業費の支払いを証明する書類の写し
- 11. その他協議会が確認に必要と判断するもの (原本写し)
- 12. 交付決定通知書

(記載上の注意)

- 1. 用紙の大きさは、日本工業規格で定めるA列4とし、縦位置とすること。
(設計図書等はA3折り込みで可)
- 2. 「住宅の名称」には、採択通知書に記載してある「住宅の名称」を記載すること。

令和 3年 2月 1日

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会
会長 竹中 宣雄 様

(申請者)
建築主の氏名又は名称
共生 太郎



令和2年度住宅・建築物環境対策事業費補助金完了実績報告書

交付決定通知書に記載された「交付決定日及び交付決定番号」を記載してください。

令和 2年 4月 20日 付け KKJ02 発 第CK 000-01 号をもって補助金の交付決定を受けた標記事業が完了したので、令和元年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）補助金交付規程第11の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告し、

- 1. 補助事業の概要
- 2. 補助金の交付決定
- 3. 補助事業の進捗状況
- 4. 補助事業の完了状況

共生 太郎 殿

KKJ2発第CK000-01号

サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）補助金交付決定通知書

令和 2年4月1日付けで申請のあった令和2年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）補助金については、サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）補助金交付規程第7の規定により、下記のとおり交付することに決定したので、通知します。

令和2年4月20日

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会
会長 竹中 宣雄 様

記

住宅の名称 (気候風土の家)

- 1. 補助金の交付の対象となる事業及びその内容は、令和2年4月1日付けによる交付申請書のとおりとする。
- 2. 補助事業に要する経費及び補助金の交付決定額は、次のとおりとする。

補助事業に要する経費	2,000 千円
補助金の交付決定額	1,000 千円
- 3. 補助事業に要する経費の配分は、前記交付申請書記載のとおりとする。
- 4. 補助金の額の確定は、事業が交付申請どおりに行われたことを確認した上で確定するものとする。
- 5. 補助金の交付を受けた者（以下「事業主体」という。）は、交付規程等に基づいた適切な経理を行わなければならない。
- 6. 補助金の交付の条件は、別紙のとおりとする。

2月 1日

(添付資料)

- 1. 補助金精算書
- 2. 補助金振替簿
- 3. 建築士による設計図書
- 4. 外皮に関する資料
- 5. 「一次コスト削減計画」
- 6. 提案内容
- 7. 納品書
- 8. 事業費の明細書
- 9. 工事等の写真
- 10. 事業費の明細書
- 11. その他協賛書
- 12. 交付決定通知書

(別紙1)
(別紙2)
(別添1)
(提出資料1)

(任意様式)
(任意様式)

(原本写し)

(記載上の注意)

- 1. 用紙の大きさ (設計図書等はA3用紙で可)
- 2. 「住宅の名称」には、採択通知書に記載してある「住宅の名称」を記載すること。

補助金精算調書

別紙2を記載すると、自動で入力されます。

1. 補助金調書

(税別、単位：千円)

区 分		金 額	備 考
交付決定 の内容	1	補助事業に要する経費 ※1	2,000
	2	補助金額 ※2	1,000
補助金 換算額	3	精算対象支払額 ※3	2,000
	4	精算補助金額 ※4	1,000
5	消費税仕入控除税額	0	
6	補助金不用額 5=2-4 ※5	0	
7	補助金受入済額	0	
8	差引受入見済額または超過額	0	

(記載上の注意)

- ※1. 交付申請（もしくは交付変更承認申請）「別紙1」に記載した補助対象事業費の合計を記載すること。
- ※2. 交付決定通知書の交付決定額を記載すること。
- ※3. 実績報告書「別紙2」に記載した補助対象事業費の合計を記載すること。
- ※4. 実績報告書「別紙2」に記載した精算額の合計を記載すること。
- ※5. 交付決定額より小額での申請となる場合は、その差額を記載すること。

(その他注意事項)

- ※ 精算補助金額は他の補助金の受け入れ未済額とすること。
- ※ 実績報告書にて添付する他の様式と金額が整合していること。
- ※ 備考欄は未記入とすること。

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

住宅の名称： 気候風土の家

補助金換算額の精算方法及び内訳

例-実3

※補助金精算： 交付申請(または交付変更申請)の金額が自動で入力されます。

(単位：千円)

補助対象項目	事業費 (D)	補助対象外事業費 (E) = (D) - (F)	補助対象事業費 (F)	補助率	補助金精算額 (G) = (F) × 補助率
環境負荷の低減項目	(36,000)	(34,000)	(2,000)	1/2	(1,000)
	36,000	34,000	2,000		1,000
(交付決定額)	36,000	34,000	2,000		1,000
(変動増減)	0	0	0		0

(E)のうち、他の補助金実績時の(D)(E)(F)(G)については、下表を作成すると自動で入力されます。

事業名： 浄化槽補助金 所轄名： ○○県

注1 交付申請額は掛かり増し費用相当額の1/2以内の額とする。

ただし、補助対象となる掛かり増し費用相当額が1/2を超えている場合は、1/2以内の額とし、採択金額を上限額とする。本申請以外の補助金を記載してください。

注2 (F)には、他の補助金を含む補助対象事業費には他の補助金を含めることはできません。

注3 交付申請(または交付変更承認申請)に基づく交付決定額を上段()内に記載すること。

(税抜、単位：円)

(D) 事業費	※事業費の積算内訳が記載されている見積書等を添付すること	(D)	36,000,000
---------	------------------------------	-----	------------

掛かり増し費用相当額の内訳	環境負荷の低減項目		差額金額
	1	土塗壁	1,900,000
2	木製建具	700,000	
3		0	
4		0	
5		0	
	掛かり増し費用相当額の合計金額		2,600,000
掛かり増し費用相当額による補助金額精算	掛かり増し費用相当額の1/2		(A) 1,300,000
	掛かり増し費用相当額の合計金額の内、補助対象事業費とする金額		(F) 2,000,000

注4 交付申請(交付変更承認申請)時より変更した場合、掛かり増し費用による補助対象事業費は見積書を添付すること

補助対象とならない項目の内訳	補助金額		
	1	外構工事	2,120,000
2	屋外給排水	1,350,000	
3	地盤改良	481,600	
4	設計費、建築確認申請費、申請手続き費等	2,500,000	
5		0	
	小計	6,451,600	
建設工事費による補助金額精算	補助対象となる部分の建設工事費の全体		29,548,400
	補助対象となる部分の建設工事費の1/10		(B) 2,954,840

(C) 採択金額 (補助金額)	※採択通知書に記載された採択金額を記載すること	(C)	1,000,000
-----------------	-------------------------	-----	-----------

補助金換算額の算定	(A)、(B)又は(C)の少ない金額	採択金額 (補助金額)	1,000,000
-----------	--------------------	-------------	-----------

住宅の名称： 気候風土の家

建築士による省エネルギー性能の状況、提案内容への適合確認書

当該申請に係る住宅の設計内容の省エネルギー性能の状況、及び住宅の整備内容と交付申請書に記載されている住宅の設計内容との適合状況は、次のとおりである。 **建築士による書類作成日を記載してください。**

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

令和 3 年 2 月 1 日

二級 建築士 ○○県知事 登録 第 12356 号

建築士の氏名 工務店 太郎



※建築士は本確認書の内容について責任を担う必要があることに留意すること。

建築士の個人印を押印してください。

きづき処分される

1. 住宅の基本事項 別添1-1を記載すると、自動入力されます。

住宅の名称	気候風土の家
建設地	○○○県○○○市大字○○1111番地1号
住宅部分の床面積・階数	一次エネルギーの床面積の合計 130.33 m ² ・ 地上 2階 地下 0階
他の補助金申請	有 補助金名称 浄化槽補助金 国費外

(記載上の注意)

1. 他の補助金申請の有無を記載してください。

2. 補助事業者等の概要 別添1-1を記載すると、自動入力されます。

建築主 (申請者)	氏名又は名称	共生 太郎
	住所	東京都新宿区神楽坂2-××-××
事務代行者の連絡先 (申請代理人)	会社名称	株式会社 □□住宅
	担当者氏名	△△ ▽▽
	住所	○○○県○○○市XXXXXX-XXXX
	電話番号	111-222-3333

(記載上の注意)

1. 住所、所在地は、都道府県から記入すること。
2. 複数の設計者が関与している場合、代表となる設計者を記入すること。

3. 住宅の設計内容の省エネルギー性能の状況

(1) 算定結果 交付申請様式の別添1-2を記載すると、自動入力されます。

住宅の地域区分	6 [地域]		交付時の数値基準	完了実績時の結果
外皮平均熱貫流率 (UA) [W/ (m ² · K)]			1.07	1.07
冷房期の平均日射熱取得率 (η A)			2.1	2.1
一次エネルギー消費量 気候風土適応住宅版 ※建築物エネルギー性能基準 (行政庁認定住宅用)	判定	設計一次エネルギー消費量 [GJ/ (戸 · 年)]	59.7	59.8
	B E I	B E I	1.23	1.25

(2) 計算書 申請する住宅について、実績値における結果を記載してください。

(注) 交付申請時からの変更に伴い、「一次エネルギー消費量計算結果」及び「外皮計算書」の再計算結果を添付してください。

4. 計画の変更等 及び 提案内容への適合状況

(1) 交付申請時からの設計変更の有無	"プルダウン" より 選択してください。	有
(2) 交付申請書に記載した地域の気候風土への適応、環境負荷低減対策及び取組等の提案内容、省エネルギー基準に関する変更の有無		有

(注) 少なくとも、建築基準法第6条第1項に定める「建築物の計画変更の内容」及び完了検査申請書「確認以降の軽微な変更の概要」欄に記載した事項がある場合は、(1)については「有」とすること。

上記(2)で「有」を選択した場合、次の内容を記載すること。

要素・項目等	変更の概要	当該変更の内容が提案内容への適合状況に影響を与えないと判断した理由
土塗壁	土塗壁を〇〇㎡から〇〇㎡に増加	軽微な面積変更の為
変更した内容について、具体的に記載してください。		

(注) 「要素・項目等」欄には、地域の気候風土への適応、環境負荷低減対策及び取組等の提案内容、省エネルギー基準について、提案申請書に記載した内容のうち該当するものを記載すること。欄は適宜追加すること。

別添1-1を記載すると、自動入力されます。

住宅の名称： 気候風土の家

外皮に関する断熱性能実績一覧

住宅の名称： 気候風土の家 別添1-1を記載すると、自動入力されます。 地域区分 6 地域

断熱材	部位	断熱材の名称等	熱伝導率 (λ)	厚さ (mm)	備考
	屋根 1	ウッドファイバー	0.038	90	
	屋根 2	ウッドファイバー	0.038	100	
	天井 1	交付申請様式の別添1-2を記載すると、自動入力されます。			
	天井 2				
	壁 1	フォレストボード	0.440	50	
	壁 2				
	L+400[mm]超の基礎壁 1				
床	外気に接する部分	石場建て ウッドファイバー	0.380	50	
		ウッドファイバー	0.380	50	
	その他の部分	ウッドファイバー	0.380	20	
	土間床等				
土間	外気側				
	床下側				
基礎	外気に接する部分				
	その他の部分				

開口部	部位	木建具等：枠・ガラスの仕様等 既製品等：商品名・シリーズ等	熱貫流率 (W/m ² ・K)	日射熱取得率 (η)	備考
	玄関ドア	木製_単板	6.51		
	勝手口	木製_ガラスなし	4.65		
	窓				
	WW1~WW3、WW5	木製_単板	6.51	0.63	
	WW4、WW6	木製_複層 (A10以上)	2.91	0.57	
	AW1、AW2	金属製_複層 (A10以上)	4.07	0.63	
	AW3	金属製_単板 (2枚組_A12以上)	4.07	0.63	
		使用した断熱材の内容について、具体的に商品名・性能値等を記載してください。			性能値・厚みを記載してください。

別添1-1を記載すると、自動入力されます。

作成者（申請者）

住所

令和 年 月 例一実9
〇〇〇県〇〇〇市XXXXXX-XX
XX

会社名

株式会社 □□住宅

氏名

△△ ▽▽

印

別添1-1を記載すると、自動入力されます。

住宅名称：

気候風土の家

の施工業者一覧

No.	業種	内容	会社名・職方	住所
1	木工事	木工事一式	(株)〇〇〇	〇〇県〇〇市×××
2	屋根工事	瓦屋根	(株)〇〇〇	〇〇県〇〇市×××
3	建具工事	木製建具	(株)〇〇〇	〇〇県〇〇市×××
4	左官工事	土塗壁	(株)〇〇〇	〇〇県〇〇市×××
5	畳工事	畳	(株)〇〇〇	〇〇県〇〇市×××
6	電気工事	電気	(株)〇〇〇	〇〇県〇〇市×××
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

出荷証明証の見本 (必須事項：①～⑦の明記がるもの)

令和2年〇月〇日

●△建設株式会社 殿

⑦ 社印

株式会社
△△△△



① 施工会社名

出荷証明書

毎々、格別なるお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

扱て、今回の工事に関しまして下記の通り商品を出荷した事を証明致します。

② 邸名	記	③ 建設地 又は 納品場所
工事名	〇〇 ▲▲ 様 邸	
建築主名	〇〇 ▲▲ 様	
建設地	〇〇県〇〇市〇●123-456	
販売店	有限会社●●住器	⑤ 出荷日 又は 納品日
納品日	下記のとおり	

④ 商品名 及び 品番		色	⑥ 数量
商品名		納品日	納品数
1	AD-1 ジェスタK2片開きR A17型トリノパイン (BC)	トリノパイン	1
2	AD-2 サーマス	ト	1
3	AD-2 Low-e複層		1
4	AW-1 サーマスII	ト	1
5	AW-1 Low-e複層ガラスSH遮熱 / LEG4-A14-透明4G付		1
6	AW-2 サーマスII-Hイタリヤシャッター付引違い窓手動2枚建		2
7	AW-2 Low-e複層ガラスSH遮熱 / LEG4-A14-透明4G付		1
8	AW-3 シンプルアートII突き出し窓ロックダウン品165025	シャイン/ホワイト	2
9	AW-4 サーマスII-H横すべり出し窓07409	シャイン/ホワイト	1
10	AW-4 Low-e複層ガラスSH遮熱 / LEG3-A14-透明5G付		1
11	AW-5【特注】サーモスII-H縦すべり出し窓T左吊060		2
12	AW-5 Low-e複層ガラスSH遮熱 / LEG3-A16-透明3G付		2
13	AW-5【特注】サーモスII-H縦すべり出し窓(T左吊06)07L	シャイン/ホワイト	1

窓番号：外皮計算書等の窓番号又は平面図記載の窓番号であること

ガラスの仕様

窓サイズ

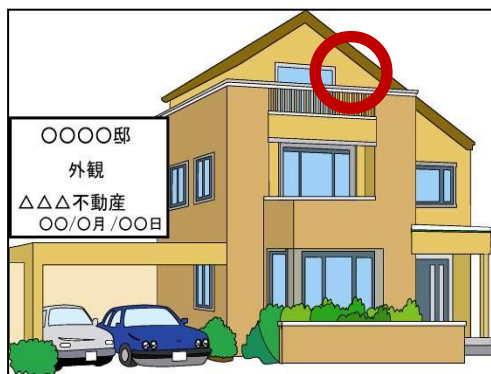
サッシの出荷証明については「補助金交付申請」時に選定した項目が確認できるように窓番号、ガラスの仕様、サイズを明記してください

完了実績報告書に添付する物件の写真について

<写真撮影の際の留意点>

工事写真は、工事が適正に施工されたことを報告するためのものであり、工事などの進捗によって不可視となる箇所など後日確認が困難になるものについては、特に重要です。

- 1) 共通事項
 - ・手振れやストロボ等の影響により撮影対象や文字が不鮮明なものは不可です。
 - ・写真は工程順にレイアウトし、写真の番号、施工部位や補足説明文などを記入してください。
 - ・補助対象部位が判読できるように、一定の範囲もしくは全景を撮影してください。
 - ・写真には日付、事業者名、邸名、工事内容等を明記したボードを入れ、その内容が判読できるように撮影してください。
(ボードが不鮮明な場合、写真台帳に明記してください。)
 - ・写真貼り付け欄等が不足する場合は、適宜追加してください。
- 2) 外観・内観
 - ・外観、内観写真はそれぞれ1面以上(「対象住宅の写真」に貼付した以外の面)を撮影し提出してください。
 - ・主たる居室と階段室等を区切る建具を有する場合は「別途資料」を参照のこと
- 3) 断熱材
 - ・屋根、天井、外壁、床、オーバーハング部、基礎等の施工部位毎に撮影してください。
 - ・断熱材の仕様が確認できるように、また断熱材施工後の状態が確認できるように撮影してください。
- 4) 開口部
 - ・玄関ドア等も含め、代表的な3~4箇所程度を撮影してください。
- 5) 設備機器
 - ・空調設備、換気設備、給湯設備(節湯機器、高断熱浴槽を含む)、照明設備など、**一次エネルギー消費量計算結果で選定した設備機器**は全て撮影してください。
(其々1~2枚程度。照明設備は代表的な2~3箇所程度。)
- 6) 給湯配管
 - ・小口径配管「有」で算定した場合は”給湯ヘッダー”の写真が必要となります。



補助事業者名、邸名等を記入したボードは、文字が読めなくては意味がありません。文字の大きさ、鮮明度等、報告用の資料写真として相応しいか、十分確認してください。



画面には提案内容に係る部分だけを接近して撮影するのではなく、周囲の状況もバランス良く画面に納めて、当該住宅の写真であることが特定できるようにしてください。